

令和4年度決算 「4つの財務諸表」

令和4年度決算における松本市の財務書類を、総務省の示す「統一的な基準」により作成しました。民間企業会計の考え方と会計実務を基として、インフラ資産など、地方公共団体特有の条件も加味した上で、発生主義により歳入歳出の執行データを仕訳して作成する財務書類です。

1 連結貸借対照表（バランスシート）

会計年度末(令和5年3月31日)における市全体の資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかをわかるようにしたものです。

資産の部(これまで積上げてきた資産)		負債の部(将来の世代が負担する金額)	
1 固定資産	5,659億1,400万円	1 固定負債	1,699億4,700万円
(1) 有形固定資産	5,379億4,800万円	(1) 地方債等	940億2,700万円
(2) 無形固定資産	14億7,800万円	(2) その他	611億7,400万円
(3) 投資その他の資産	264億8,800万円	2 流動負債	183億7,200万円
2 流動資産	466億9,300万円	(1) 1年内償還予定地方債	131億7,800万円
(1) 現金預金	200億4,200万円	(2) 賞与等引当金	16億2,700万円
(2) 未収金	37億2,300万円	(3) その他	8億4,900万円
(3) 基金	210億8,800万円	負債合計	1,883億1,900万円
(4) その他	3億6,500万円	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)	
3 繰延資産	600万円	純資産合計	4,242億9,400万円
資産合計	6,126億1,300万円	負債・純資産合計	6,126億1,300万円

2 連結行政コスト計算書

1年間の福祉サービスにかかる経費など、資産形成につながらない経常的なサービスにかかったコストと、サービスの利用で市民の皆さんが負担した使用料、手数料などの収入を示すものです。

経常費用	1,843億7,000万円
業務費用	800億3,500万円
人件費、物件費など	
移転費用	1,043億3,600万円
補助金、社会保障給付、他会計繰出金など	
経常収益	235億5,700万円
使用料及び手数料	166億1,200万円
その他	69億4,500万円
純経常行政コスト(経常費用ー経常収益)	1,608億1,300万円
臨時損失	2億3,300万円
臨時利益	1億5,900万円
純行政コスト(純経常行政コストー臨時収支)	1,608億8,800万円

3 連結純資産変動計算書

1年間の純資産(資産と負債の差)の増減を示すものです。

令和3年度末 純資産残高	4,220億5,300万円
令和4年度純資産変動額	22億4,200万円
純行政コスト(Δ)	Δ1,608億8,800万円
財源	1,625億6,300万円
税収等	942億 400万円
国県等補助金	683億6,000万円
本年度差額	16億7,600万円
無償所管換等	1億1,800万円
その他	2億1,800万円
令和4年度末 純資産残高	4,242億9,400万円

4 連結資金収支計算書 (キャッシュフロー計算書)

1年間の現金の収支を示すものです。

令和3年度末 資金残高	174億6,800万円
令和4年度資金収支額	15億2,000万円
1 業務活動収支	177億7,500万円
(1) 業務支出(臨時分含む)	1,642億3,400万円
(2) 業務収入(臨時分含む)	1,821億2,400万円
2 投資活動収支	Δ105億9,500万円
(1) 投資活動支出	248億2,400万円
(2) 投資活動収入	142億2,800万円
3 財務活動収支	Δ56億6,000万円
(1) 財務活動支出	153億3,600万円
(2) 財務活動収入	96億7,600万円
比例連結割合変更に伴う差額	Δ3,200万円
令和4年度末 資金残高	189億5,600万円
令和4年度末 歳計外現金残高	10億8,600万円
令和4年度末 現金預金残高	200億4,200万円

連結の会計範囲

【連結会計】

【一般会計等】 松本市の全体会計
一般会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計、霊園特別会計
【特別会計・公営企業会計】
地域排水施設事業、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、農業集落排水事業、公設地方卸売市場、市街地駐車場事業、奈川観光施設事業、松本城、水道事業、下水道事業、病院事業、上高地観光施設事業

【一部事務組合・広域連合・土地開発公社・

第三セクターの関連団体22団体】

連結する対象は「一般会計」「特別会計」「公営企業会計」「一部事務組合」「広域連合」「土地開発公社」と、出資率25パーセント以上の「第三セクター」